



# 退任のご挨拶



前副松会名誉会長  
萩原 武士先生

一月二十一日、雲を抜けて  
しいが良し、晴れた昼休み、  
柏原キャンパスから吹送る  
のコートに對して、上山の雄  
岳・雌岳が仲良しをひびき  
見せる。「今(こゝろ)、附屬天  
王寺小学校の児童は、耐震  
登山をしてはいます。天気

# 誇りある伝統を踏まえて

一人である皆澤様から子と  
もの立派な成長を祈念して  
高贈された「悠久の錦」と  
フクロウをおしらしたモノ  
ユメント「道標」を小学校  
玄関吹き抜けに設置して  
いただきました。その際、雌

も連はもとより、若男女  
すべての人が「自ら考え  
自ら選択し、自ら責任を持  
って行動し、自ら実現を圖  
っていくこと」が求めら  
れています。今後、附屬天  
王寺小学校の児童が本校で



井上義則先生  
(平成22年4月)  
(平成16年3月)

附屬天王寺小学校に平成  
二年度から14年間もの長き  
にわたってお世話になりま  
した。  
その間、元氣いっぱい  
で、個性豊かな子どもたち  
と楽しく過ごしました。附  
小の子どもたちは、それぞ  
れが個性を發揮し、よいと



田中健文先生  
(平成9年4月)  
(平成16年3月)

7年間お世話になった間、  
言葉では言い表せないほど  
いたくさんの思い出が、今も  
胸にたくわえられています。  
「音楽」と「教科の難関につ  
いて」について、語り合っ  
ていたことも、私にとって  
貴重な経験でした。いつ  
も傍らに「歌」がありました  
。毎年出る子どもたち

私は、現在難波元町小学  
校でお世話になっていま  
す。名前の通り、難波駅の  
すぐ近くにあります。機会  
があれば、ぜひ御座のぞか  
せて下さい。  
最後になりましたが、雌  
松会の皆様には、様々な場  
面で学校を支えていただ  
きました。誠にありがとうございました。  
また、難波が今後ま  
すす発展されることを祈  
りに願っています。

中尾善弘先生  
(平成10年4月)  
(平成16年3月)



五年生の担任  
として楽しい  
毎日を送り、  
してあります。  
ていまして。  
おの歌も歌っています。  
……ううう。にじかに  
が、空にかかって、きみの  
きみの、気分が晴れて  
きくと、おしたは、いい天  
気きくと、おしたは、い  
い天気。  
卒業生のみなさん、これ  
からもみなさんの頭上にす  
てきな「にじ」がたくわえ  
かかりますように!

# 転出された先生方

# ありがとうございました



松下宣幸先生  
(平成16年3月)

「ありがとうございました」  
ございました。1年が過ぎま  
す。私にとっては何となく  
1年が過ぎました。現在  
は、住吉区の大坂市立東江  
小学校に勤務しております。

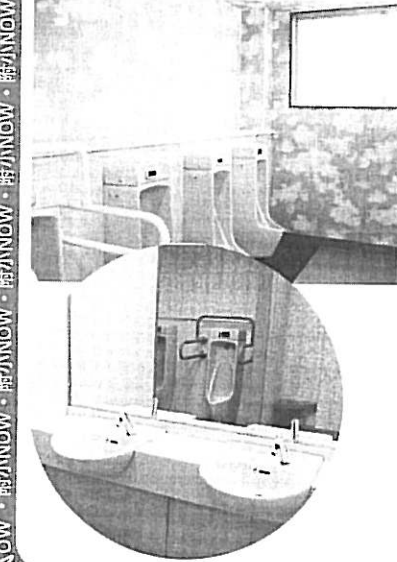
平成10年度に  
大阪市大正区の  
泉尾東小学校から赴任し、  
6年間、附屬天王寺小学  
校でお世話になり、現在は  
西区にある大阪市  
立本田小学校に勤  
務しております。本  
田小はたいへん落  
ち着いた学校で、  
お勤めの皆様は幸  
せだと思います。  
附小の卒業生は幸  
せだと思います。  
卒業生の皆様へ  
自分好きな道を  
見つけ、一歩一歩に  
突き進んで、すばらしい明  
日を開いてください。

今年度は教務の仕事をして  
いましたので、残念ながら担  
任を持たせてもらうことが  
できませんでした。ですが  
特に、臨海学習や委員会な  
どの行事を通して、私は子  
どもたちと「一緒に頑張ら  
なう」を大切にしながら、心算  
算に「すもも」の大切  
な事を教えていたことが  
ありました。このことば今  
後も、私が教員を続けたい  
うえで大切な宝物です。  
卒業生のみなさんへ附小  
での経験を今後の自分の生  
活に生かして、活躍されて  
ください。お待ちしております。

附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW

# 附小NOW 近況報告 トイレが素敵に

## 雑松会担当教官 鈴木 武司



我が附屬天王  
寺小学校は長い  
歴史と伝統のお  
りすばらしい学  
校であります。  
その長い歴史と  
伝統は校舎から  
も伺えます。長  
い間卒業生や在  
校生に大切に使われてきた  
校舎は十分に伝統を感じて  
使われています。そんなすば  
らしい校舎です。そんなすば  
らしい校舎は近年子ども  
もたにとして使いつらい  
状況になってきている箇所  
もあります。第一に挙げら  
れるのはトイレです。  
痛んだ所や、せつして  
も落ちない汚れは子ども  
たちにとっても大変な問題  
です。今までも当り前の  
ように汚れていた  
けれど、周りの汚  
れに粉れて気にな  
らなかったことが  
非常に目立つよう  
になりました。せ  
つ、手洗い場は自動で水が  
流れ、個室には十分に荷物  
が置ける場所があり、全  
体的に清潔に生まれ変わ  
りました。  
しかし、その様に立派な  
トイレになったからその  
問題点が浮かび上がって  
います。今までも当り前の  
ように汚れていた  
けれど、周りの汚  
れに粉れて気にな  
らなかったことが  
非常に目立つよう  
になりました。せ  
つ、手洗い場は自動で水が  
流れ、個室には十分に荷物  
が置ける場所があり、全  
体的に清潔に生まれ変わ  
りました。  
しかし、その様に立派な  
トイレになったからその  
問題点が浮かび上がって  
います。



附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW

# 「附小の名前が変わりました」

平成16年4月1日より

国立大学は国の行政組織から独立し、各大学ごとに法人化し、国立大学法人として生まれ変わりました。大阪教育大学は、国立大学法人大阪教育大学という名称になりました。

それに伴って本校の名前が変わりました。大阪教育大学教育学部附属天王寺小学校から教育学部が取れ、大阪教育大学附属天王寺小学校となった訳です。これは附属学校が、大学直属の大学附属となったからです。「国立大学法人」制度の概要は次のとおりです。

大阪教育大学  
教育学部  
附属天王寺小学校

大阪教育大学  
附属天王寺小学校

## 国立大学法人制度の概要

- ①「大学ごとに法人化」し、自律的な運営を確保
  - ・国の行政組織の一部一各大学に独立した法人格を付与
  - ・予算、組織等の規制は大幅に縮小し、大学の責任で決定
- ②「民間的発想」のマネジメント手法を導入
  - ・「役員会」制の導入によりトップマネジメントを実現
  - ・「経営協議会」を置き、全学的観点から資源を最大限活用した経営
- ③「学外者の参画」による運営システムを制度化
  - ・「学外役員制度」(学外有識者・専門家を役員に招聘)を導入
  - ・経営に関する事項を審議する「経営協議会」に学外者が参画
  - ・学長選考を行う「学長選考会議」にも学外者が参画
- ④「非公務員型」による弾力的な人事システムへの移行
  - ・能力・業績に応じた給与システムを各大学の責任で導入
  - ・兼職等の規制を撤廃し、能力・成果を産学連携等を通じて社会に還元
  - ・事務職を含め学長の任命権の下での全学的な人事を実現
- ⑤「第三者評価」の導入による事後チェック方式に移行
  - ・大学の教育研究実績を第三者機関により評価・チェック
  - ・第三者評価の結果を大学の資源配分に確実に反映
  - ・評価結果、財務内容、教育研究等の情報を広く公表

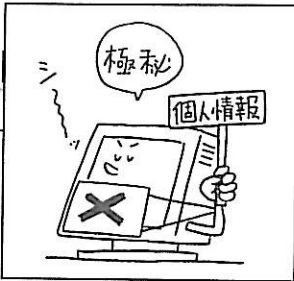
国立大学法人法の中には、第三種に「中期目標等」の項目があり、「中期目標等」は、6年を期間とする。中期目標を定め、国立大学法人に示す。又、「国立大学法人は、中期目標に基づき、中期計画を作成し、文部科学大臣の認可を受けなければならない」とあります。

大阪教育大学の中期目標には、「附属学校に関する目標」もあり、「附属学校に関する目標を達成するための措置」としては、

- ・大学・学部との連携・協力の強化に関する具体的方策
- ・学校運営の改善に関する具体的方策
- ・附属学校の目標を達成するための入学選抜の改善に関する具体的方策
- ・公立学校との人事交流に対応した体系的な教職員研修に関する具体的方策

などが盛り込まれています。

## 「個人情報保護法」施行に伴う 雑松会の取組について



雑松会では「同窓会名簿」を平成18年11月発行(予定)に向けて、会員の住所等調査を開始いたします。

平成15年5月に成立した「個人情報保護法」が平成17年4月から完全施行されます。

本会も同法における「個人情報取扱事業者」に該当し、会員の皆様への大切な情報を適正に管理するため、同法の主旨に基づき、下記の点に留意して、間違っても情報漏洩等を起こさないよう万全の体制で早めに取り組んでおります。

つきましては、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

- ①利用目的の特定(目的外利用の原則禁止)
 

本会では、本会の目的である会員相互の親睦および母校への支援のため、総会等催事等の告知・案内・連絡、会報発送、同窓会名簿の作成、その他、役員会・総会で承認された目的以外に、会員本人の同意を得ずに、情報を目的外利用いたしません。
- ②偽りその他不正手段による取得の禁止
 

本会では、原則として、住所等調査票の郵送による調査等、適正適法な方法により情報を取得し、偽り等不正な手段で情報を取得することはいけません。
- ③正確・最新の内容に保つ努力義務
 

本会では、原則として、会員からの個人情報に限り本人の申し出に依り、できるかぎり正確・最新の情報を保つよう努力いたします。ただし、本人であることが確認できない場合は、この限りではありません。本会の事務を混乱させるような煩雑な訂正要求等については、一定の猶予期間を置かず、お断りする場合があります。また、役員会で協議・決定され、事前に会員に公表された情報更新手数料を徴収する場合があります。
- ④安全管理措置
 

本会・事務局においては、個人情報の管理について、みだりに他人が閲覧・複製等できないよう安全管理に万全の注意をいたします。また、委託業者と委託契約を結び、情報の取り扱いと漏洩防止について取り決めます。事務局は、委託業者を管理・監督します。
- ⑤本人の同意のない第三者提供の禁止
 

本会が管理する会員の個人情報については、本人の同意なく第三者に提供いたしません。また、会員および会員外の第三者が、本会が発行する「会員名簿」等を有償無償を問わず、第三者に提供したことが判明した場合は、法的措置を取ります。

また、不正不正な手段で会員の個人情報を取得した会員および会員外の第三者についても同様です。
- ⑥本人の求めによる開示・訂正・利用停止等
 

本会が管理する会員の個人情報については、本人の申し出により、本人に限りその情報を開示・訂正・利用停止等することができま。ただし、本人であることが確認できない場合は、この限りではありません。また、本会の事務を混乱させるような煩雑な訂正要求等については、一定の猶予期間を置かず、お断りする場合があります。また、役員会で協議・決定され、事前に会員に公表された情報更新手数料を徴収する場合があります。
- ⑦苦情の適切な処理
 

会員は、本人の情報の取り扱いについて、事務局に対し苦情を申し立てることができます。

事務局の連絡先は、以下のとおりです。ご連絡は書面にてお願いいたします。

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45 大阪教育大学附属天王寺小学校(附) 雑松会事務局

## 第30回 雑松会 総会・懇親会を盛大に

平成16年・17年に成人式を迎えられた 学年(平成8年・9年卒)の皆様へ

雑松会では、20歳の記念同期会を懇親会で開催していただくよう企画しています。一昨年は、平成6年・7年卒業の皆様が多く出席され大盛況でした。多数のご参加をお待ちしています。



雑松会会員の皆様には、まずまずお元気で活躍のご様子です。雑松会は長い歴史と伝統のある同窓会として発展しており、平成13年には周年の記念懇親会が都ホテル大阪にて盛大に開催されました。これもひとえに会員の皆様のご理解と学校の方の尽力とご支援によるためものであります。

本年は、年に1度の総会・懇親会が開催されます。ご友人、先輩・後輩の皆様とお話し合わせの上、より多くの会員の皆様にお集まりいただけますよう、お断りいたします。尚、出欠の通知は会報に同封の出入り方でお知らせ下さい。

また、同期会を開催される「期」には、出席費として2万円の間際開催補助費を支給させていただきます。つきましては、会報への同期開催記事と集金写真の届出と引き換えさせていただきます。ご協力いただきありがとうございます。お断りいたします。

尚、ご不明な点、および詳細につきましては、雑松会総務担当幹事 昭和54年卒 桜井 忠孝(さくらい ただたか)までお問い合わせ下さい。(TEL 090-3613-8639)

# ROOTS

「天から神さん降りて来てはりました。神さんごんも一緒に突然に降って来たらはったのかもしれない。岸本光正さんの「おと」欄で、電話の音、「蛸の松を運んで来てはりましたんや」「ええ」「私も」「んや」「ええ」「私も」「んや」といつの間にやら高鳴り出したか

「蛸の松」のことは昭和58年発行の同窓会報「雑松」第1号で、前田昇校長先生、当時「雑松」の編集者から「蛸の松」についてと紹介された。その後、大阪駅前内で「浪速写真館・百年の大阪」と題してのバネル写真展を見て、更に又その翌年、なんば高島屋で「おおきかタイムトンネル 浪速写真館」写真展を見る機会を持つ。勿論、前田校長先生の前記の紹介が記憶

## 復活願末記

昭和17年卒 柴谷 一慶

伊藤貞雄社長「蛸の松」のこと、この「蛸の松」を復活したいと話していたし、丁度二年後には親父分の「友松会」の記念年度で、あることも聞いていたの、出来れば雑松会も協力して親子で「蛸の松」が復活出来ればの思いもあつた。更には中之島の西地区の「蛸の松」のバネル写真展を頂くと出来た。現在、小学校校長室に保管されている。その後も「雑松」16号、18号、20号には前田先生にお願ひしての紹介記事を描載している。

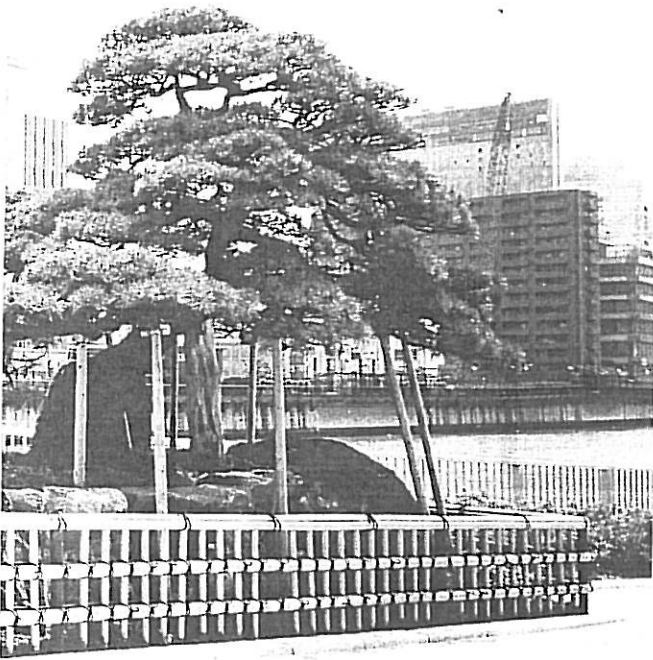
私は、元「蛸の松」の編者として、現場で工事中の京阪電線の地下延上線である中之島高島屋近町の

# 「雑松」のルーツ

を辿って振り返って考えてみた。一言感懐の気持ちを表したかった。ここに「雑松」のルーツを辿る。中之島に於いて復活を、そして記念碑の内容も検討してのことであるので、早速に幹事会を招集せねばならぬ。私には「夢みだいな話やなあ、その願望は○○さんか？いすれにしても直ぐに幹事会を」と返事する。何となく「おつ」って、ならないので私は自然と岸本さんの会社に向かった。私には突然の思いがけないことであるが、前々から「雑松」の「蛸の松」記事

に丁度いい頃に突然、岸本さんからの「神さんごん……」の電話である。話を先に戻す。

岸本光正（昭和30年卒）さんの電話は、ある願望家が中之島に「蛸の松」を復活させたいことに協力したい。それも是非、雑松会の名に於いて復活を、そして記念碑の内容も検討してのことであるので、早速に幹事会を招集せねばならぬ。私には「夢みだいな話やなあ、その願望は○○さんか？いすれにしても直ぐに幹事会を」と返事する。何となく「おつ」って、ならないので私は自然と岸本さんの会社に向かった。私には突然の思いがけないことであるが、前々から「雑松」の「蛸の松」記事



堂島川岸で威容を誇っていた「蛸の松」。右側が久留米溜蔵屋敷、手前が入り組の太鼓橋、左上は田義橋

# の松」復活

の松」の復活は、雑松会の永年の念願の一つであり、前号に事を掲載していました。別のところからも「蛸の松」復活の計画がもち上がり、とんでいきました。松会のシンボルとして、又中之島のシンボルとして、100有或の「蛸の松」を復元することができました。きましたお二人の方にその夢のような話の願末を語っていた

## 中之島の名木 105年ぶりに復活

中之島に伝説の古木「蛸の松」が、105年ぶりに復活した。中之島に伝説の古木「蛸の松」が、105年ぶりに復活した。中之島に伝説の古木「蛸の松」が、105年ぶりに復活した。



水都の歴史 また見づける

「蛸の松」の復活は、中之島のシンボルとして、100有或の「蛸の松」を復元することができました。きましたお二人の方にその夢のような話の願末を語っていた



江口時代の「蛸の松」は、地図に示す対岸にありました。明治維新後は、大阪府御堂津学校附属補習小学校（現大阪教育大学附属天王寺小学校）が大阪久留米溜蔵屋敷跡地に開校し、その同窓会（「の地の松」に因んで「雑松会」と改称）が、1917年1月

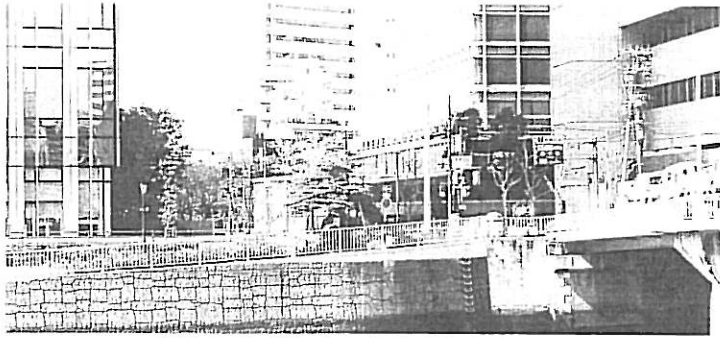
**碑文 「蛸の松」**

江口時代、中之島には諸藩の蔵屋敷が建ち並び、屋敷前には合番自慢の松が植えられていました。人々は屋敷の白壁と川の流れるに映る松の景色を羨しんだといわれています。

なかでも、堂島川のほとりの久留米溜と堂島藩の境の松は、枝振りか蛸の泳ぐ姿に似ていることから「蛸の松」と呼ばれる名木でした。月の夕べや朝の曉めはとりわけ美しく、鑑賞されました。

前図と「蛸の松」の位置 (御堂津御堂津大阪府東区より)

蔵屋敷前に立つ「蛸の松」絵図 (御堂津御堂津久留米溜大阪府東区より)



対岸から見た「蛸の松」 右手に見えるのが田菱橋

「天から神さん……」  
 柴谷先輩に電話したのは  
 白記の通りです。一度先輩  
 が難松病で、寄付を要する  
 とは聞いていないが近い行  
 来までななめあつたとい  
 う風な記事を読んだのと  
 ほぼ同時期に、ある友人か  
 らその差額を寄付したとい  
 の申し出、これには本当に  
 驚きました。附屬宗正寺小  
 学校には神様がついては  
 と重畳のは言だけではない  
 でしょう。この友人の名前  
 を聞かしたところそれが出  
 来ないのが苦しい所です。  
 (副本人の強い希望、附屬  
 小学校とは何の関係もない  
 方です。念のためともあれ  
 大きなお金の問題が解決し  
 たのだから後援者もなだ  
 と考えたのが大間違い、大  
 阪市へ寄付をするという行  
 動はそれ程の手続きが必  
 要で、これを踏まえてするに  
 は、感謝状を贈呈する  
 には、感謝状の贈呈式  
 の日取、式次、出席者の一

覧表等々、大変な作業であ  
 る事よく解りました。大阪  
 市の職員の方々も大変です  
 な。  
 よつや5月27日大阪市  
 役所に於いて、開澤一市長  
 から藤水校長先生、真高維  
 松会長へ感謝状の贈呈が  
 ありました。市長御自身が  
 昭和30年卒 岸本 光正

### 「天から神さん……」と

## 中之島のシンボル105年ぶりに

向、一連の手續きについ  
 ては大阪市水路の関係から  
 本松海運船の持主にお世話  
 になりました事、本松を借  
 りて厚く謝礼申し上げま  
 す。ついでに、維松会と  
 しては何も寄付しなかつた  
 という事、これは正確ではあ  
 りませんが、当地に行つて頂  
 れたものです。(文章は中  
 央下段)  
 皆さん、中之島界隈のリ  
 ーガロイヤルホテル、国際  
 会議場、大阪市立科学館  
 国立国際美術館等の通りに  
 寄つて見てください。往年  
 の初代「蛸の松」(写真參  
 照)はずっと大きなものだ  
 ったでしょうが、出資東北  
 詰めに枝振り見事な松が再  
 現されました。いずれは附  
 屬天王寺小学校生徒のよう  
 にスクスクと育ち、初代に  
 違わぬ立派な松として大阪  
 運河の一風景とならん事を、  
 見守つていただきたいと思  
 います。

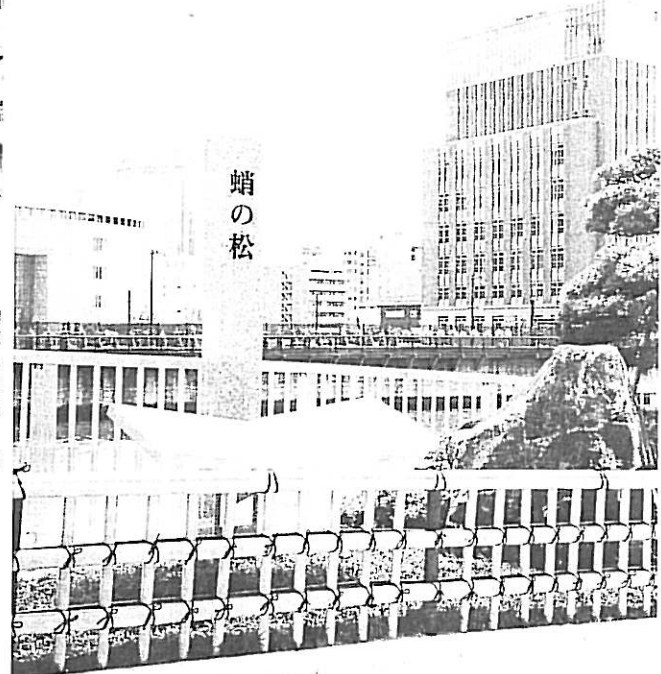
## ROOTS



大阪市役所にて感謝状贈呈式



「蛸の松」全景



蛸の松

# 「蛸」

難松のルーツ「蛸  
 も復活を熱望する記  
 時ほほ同じくして、  
 ントン拍子に事は進  
 平成16年5月、難  
 余年の時を経て、平  
 今回ご尽力いただ  
 だきました。

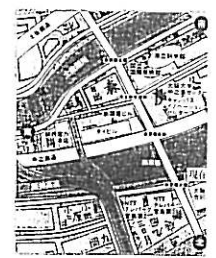


記念碑と碑文(石)

衰え、明治時代も終わるころ、枯死  
 してしまいました。その切り株は現  
 在、大阪教育大学に大切に保存され  
 ています。  
 このたび護岸の美化にあわせ、か  
 つての風趣を偲んで、「蛸の松」を  
 この地に再現しました  
 平成十六年 難松会



除幕式



中之島の諸藩蔵屋敷分祠 (大阪府立中央図書館新蔵) 改

# 雞松会元会長 金森茂一郎さんご逝去

## 会の発展に多大なる尽力



**金森茂一郎さん略歴**  
 大正11年8月大阪市に生まれる。昭和10年附属天王寺小学校卒業。昭和19年東京帝国大学法学部卒業。京阪神急行電鉄株式会社を経て昭和30年近畿日本鉄道株式会社入社。昭和62年代表取締役社長。平成6年代表取締役会長。近鉄バファローズオーナー、関西経営者協会会長、在スペイン国名誉領事等数々の役職を歴任。昭和60年藍綬褒章、平成9年スペイン国文民功労勲章大十字章を受く。

雞松会元会長金森茂一郎さん（昭和10年卒）におかれましては、平成16年10月19日にご逝去されました。（享年83歳）  
 昭和59年4月から平成5年3月までの9年間、雞松会の会長を務められ、その間、母校創立110周年、雞松会110周年の記念行事をはじめ雞松会に対し、多大なるご尽力を頂きました。  
 去る平成16年11月30日には都ホテル大阪「大和の間」で「お別れ会」がとり行われ、雞松会からも錢高会長はじめ幹事数名が出席しました。  
 謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

重厚にして敦義に富み、下さっていた佐伯会長様は、御他界なされたので、その御代りとして山崎の総代を前に深く宿り、常に身振する所でありました。思えば、附屬小学校の六年間君と共に、共に戦ったのであるが、既にその当時より、こころの風情が隔っていたのであった。中学は別れたのであるが、高校・大学は又同友としての縁を承えられた。しかし其に日開の異なる関係で、殆んど交際の機会はなく、大兄が、近畿日本鉄道の社長を経て会長に就任しておられた時、長年四天王寺の総代を御受け

**追悼の辞**  
 四天王寺前管長 瀧藤 尊教  
 （昭和10年卒）

お別れした関係もあって、急な、たまたまの面会を心に連に御相談をする機会が与えられ、親しく接し、懐かしく思い出され、忘れ得ぬ思い出が残り、お別れされたこと、御霊の上品上生の法座に安んじ給うことを祈ります。

### 同期会報告

昭和16年卒 勝又 朝昭

私達の同期会は1年半おきに開催して来ましたが、予て西本先生から地元河内長野で開催して欲しいとの熱心なアプローチを頂いたので、5月16日河内長野での開催が成り立ちました。同期生の出席は女性1名・男性3名と、いつも通り女性上位の集いとなりましたが、車椅子ながら未だお元氣な西本先生の出席を頂き、盛況でした。当日西本先生からは最近自費出版された紙芝居「環境づくりのおじいさん」を全員に渡し、恐縮しながら、今年は卒業以来64年を経て皆が喜寿を迎えた私達ですが、同期会となれば附屬小学校時代の思い出や、家族の近況など楽しい話に花が咲きました。次回（10月）は田中（十山）さん・谷口（岡本）さんと寺山（宗山）君のお世話で、平成17年秋に堺リーガロイヤルホテルでの開催と決まりました。

### 西本先生の地元河内長野で 思い出話に花が咲く



お便り



### 夫婦の近況を歌集にまとめる

昭和9年卒大木（堤芝田）通子さんの御主人から

妻通子（昭和9年卒）は、現在82歳ですが、介護老人保健施設のお世話になっております。度々の御連絡にも、本人からは御返事を差し上げられない状況です。近況報告を兼ねて、同封の小さな歌集をお届けします。

皆様から支えられて暮らす私たちが夫婦ですが、こういう生活の中から生まれた短歌作品を、今回「世紀を越えて」という題で、このような歌集にまとめてみました。

お目を通していただければ幸いです。皆様のお働きに感謝です。  
 なお、これは私家版として発行したのですが、すこし余裕に印刷しました。入手希望の方がおれば、喜んで差し上げたいと思っておりますので、私までご連絡いただければ幸いです。  
 盛岡市東松岡2丁目2-15  
 大木 英一  
 大木 通子



# お元気ですか

## 近況報告 エ・ト・セ・ト・ラ



昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に一度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

昭和29年、45年  
久島 能男先生  
同窓会のお世話、海濱作成の仕事、いろいろの苦勞までです。今後ともよろしくお願いたします。

昭和44年卒  
近者 初衣 (旧姓 藤山)  
昭和7年卒の妹(市谷千代衣、昭和16年卒の弟(藤山 昭)、3人共大阪府内に住み、健康でそれぞれの老後を楽しませていただいております。附小時代をすっかり思い出しております。御世話下さる皆様、有難うございます。

昭和8年卒  
大井 正弘  
昨年の綾巻入報告で、雨の日は桃谷から大井寺まで片道二駅の汽車で、ボテ附小に通って、お母さん思い出して笑った。鳥居をくぐって(80年近く前の仲間、健在の方は十数名(男女別)になった様で、綾巻ですが懐かしい限りです。70歳過ぎてお元気ですか、

昭和9年卒  
菅吹 サヨ (旧姓 池田)  
私は兄弟姉妹5人の末っ子です。去年すくすくお姉さんになりました。とうとう私一人になりました。姉妹部員になりました。姉妹部員になりました。姉妹部員になりました。

昭和10年卒  
本田千香子 (旧姓 大井)  
近くに浜寺公園がありますので、毎日元気に、6歳歩いております。小学校の時、水泳に毎年来ていました。高師は、浜が無くならしたので海水浴は出来なくなりました。

昭和13年卒  
佐野百合子 (旧姓 林)  
難松会会員名簿、たしかに受取りました。ありがたうございました。文林 幸光の校歌が出ていました。懐かしく拝見致しました。

昭和12年卒  
佐崎 良雄  
「難松会」のご発展大慶に存じます。附中に長く勤務いたしましたので、関市長・箕面市長、その他多数の方々のご縁が深く懐かしく思っています。もう老齢のごとく失礼ばかりしておりますが、皆様様の御健康を祈ります。

昭和13年卒  
金剛加代子  
附属天王寺小学校の女生徒さんと出会った時はなつかしく思い出します。ますます元気で難松会誌をいたただきたいと思っております。

昭和13年卒  
幸光氏作時作曲の天王寺師範学校附属小学校校歌の歌のこと。

昭和19年卒  
本間 琢也  
大阪での新住所も出来ました。  
〒531-0071  
大阪市北区中津、丁目6-6-411  
燃料電池の講演を関西でもしています。

昭和22年卒  
福岡 美彦  
大学の法人化は附感にとって他人事ではありませんが、民間の知恵を取り入れる学校経営がこれからのテーマです。教職員意識改革、自助努力もさることながら、卒業生の応援や協力が今まで以上に必要となさうと願っています。

昭和25年卒  
水口 幸子 (旧姓 高橋)  
鳥インフルエンザは不安感が募りますが、附小の校舎から聞かざるにわきの高らかなまき虫は、気持ちよくハワーを写してくれました。

昭和26年卒  
阪倉 久穂  
酒井康晴先生のお名前に接しなつかしく思っています。

昭和42年卒  
永原 寛夫  
昨年、税理士登録を受け、左記にて税理士事務所を開業いたしました。お手伝い出来ることありましたらお気軽に由を掛け下さい。  
神戸市兵庫区上沢通1-111-201  
永原税理士事務所  
TEL 078-521-8877 FAX 078-511-1622

昭和50年卒  
平田 修一  
附小を卒業してから来届で満30年となります。来年平成17年は同期会をやりませう。

昭和53年卒  
西村 泰彦  
本年(平成16年)より長男が、附小でお世話になることになりました。変わった所、変わらない所、色々あり感慨深い気持ちです。私は和歌山県立医大で脳神経外科医をしております。

昭和58年卒  
岩井 孝一  
現在兵庫県の製薬会社に勤務しております。新薬開発の業務に就いており、1日も早く良い薬を市場に出せるように努力しております。

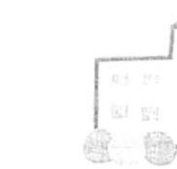
平成22年卒  
中野 真由美  
国歌に合格し、あらたに鍼灸師となることができました。今度も御指導よろしくお願致します。

平成6年卒  
室 谷 まゆ美  
イギリスのロンドンの大学に在学中です。本年(平成16年)7月に卒業予定です。

平成7年卒  
真殿 知代子  
教育実習でなつかしい母校の中学校を訪れました。小中時代が思い出されてなりません。久しぶりに同級生とも交流できました。

卒業30周年を迎える記念同窓会開催  
集まれ！ 昭和50年卒 9月18日

卒業30周年記念同窓会開催のお知らせ  
昭和50年卒 平田 修一 (94期生) 芳武 努  
春假の候、皆様お元氣のことと存じます。昭和50年に卒業した我々も、早いもので平成17年3月に卒業満30周年を迎えます。  
濱口先生、川村先生、日高先生を迎え、卒業30周年を祝って記念同窓会を開催したいと思っております。ひとりでも多くの同期生が集まれる様、皆さんのご出席とご協力をお願いいたします。



がんばってまいります!! 級友たち

出欠連絡方法等詳細は同封の別紙お知らせをご覧ください。

平成16年度

# 年会費納入者氏名

(平成17年1月末現在・敬称略)

### 特別賛助会員

三浦正三・金谷新一郎・藤野隆雄・藤本隆夫・大谷英子・山田由子・前田 力・宗田 聡・柴田一博・武田英代子・辻本直子・伊川重雄・西村由紀

### 賛助会員

甲斐史郎・前田哲男・清見康晴・斎藤順次郎・久野隆二郎・坂口久徳・武田 文・藤本光正・藤野守孝・佐田光武

### 大正15年卒

中野孝子

### 大正16年卒

三浦正三・佐藤美津子・田中由紀

### 昭和2年卒

高橋由夫

### 昭和3年卒

足田由夫

### 昭和4年卒

河野由夫・藤原由夫・藤田由夫・近藤由夫

### 昭和5年卒

河野由夫

### 昭和6年卒

河野由夫・小島由夫

### 昭和7年卒

長瀬由夫

### 昭和8年卒

大井由夫・大坂由夫・尾上由夫・高橋由夫・高野由夫・高田由夫

### 昭和9年卒

山田由子

### 昭和10年卒

高橋由夫・大坂由夫・前田由夫・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和11年卒

山田由子・小島由子・佐藤由子・高橋由子・高野由子・高田由子

### 昭和12年卒

河野由夫・佐藤由夫・高橋由夫・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和13年卒

山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和14年卒

山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和15年卒

山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和16年卒

山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和17年卒

次木 修・志保由夫・山田由夫・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和18年卒

伊藤由夫・山田由夫・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和19年卒

伊藤由夫・山田由夫・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和20年卒

高橋由夫・佐藤由夫・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和21年卒

久野隆二郎・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和22年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和23年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和24年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和25年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和26年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和27年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和28年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和29年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和30年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和31年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

### 昭和32年卒

山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子・山田由子

◎平成16年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。  
◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思ひます。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116)  
◎平成17年度の年会費は別記のようになっております。重ねてご協力をお願いします。

田中元人・中島 敏・前田 康・藤田 清史・吉田忠夫・清田 隆子・佐藤 隆子・山田由子  
昭和33年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和34年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和35年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和36年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和37年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和38年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和39年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和40年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和41年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和42年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和43年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和44年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和45年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和46年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和47年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和48年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和49年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和50年卒 山田由子・山田由子・山田由子  
昭和51年卒 山田由子・山田由子・山田由子

## 雑松会会計平成15年度収支計算書

平成15年4月1日～平成16年3月31日		平成15年度	
会計科 山口 清		物 務 科	
・年会費、賛助会費	2,049,000	郵便払込	702 円
		口座振替	2,034,000 円
		現金収入	15,000 円
収入	2,064,000	雑収入	0 円
・平成15年3月卒業生	595,000	入会金	3,000 円 × 119名 = 357,000 円
・新会員入会費、年会費	1,533	年会費	2,000 円 × 119名 = 238,000 円
・利息	1,533	定額預金利息	1,500 円
		(口座番号 2058071)	0 円
		0 円定期	0 円
		3ヶ月定期	13 円
小計	2,645,533	普通預金利息	0 円
		(口座番号 112670)	13 円
前年度からの繰越金	7,559,773	定期預金	1年定期 6,550,746 円
		(口座番号 2058071)	0 円
		0 円定期	0 円
		3ヶ月定期	392,325 円
		普通預金	0 円
		(口座番号 112670)	0 円
		郵便口座	578,000 円
		現金	8,702 円
合計	10,205,306		
・諸費費用	413,414	総会費、ジュニア会補助他	413,414 円
・会報印刷費	829,727	第34号(平成15年2月発行)会報印刷代他	829,727 円
・郵便費	49,210	各種案内状等郵送料	49,210 円
・名簿訂正費	932,961	株式会社雑松会	932,961 円
・記念品	164,115	平成16年3月卒業生 記念品代金	164,115 円
・事務用品	4,891	事務用品費、ファイル代他	4,891 円
・送付品	60,000	同封会	60,000 円
・雑費	0		0 円
・その他	347,025	記念品委託料	347,025 円
合計	2,801,343		
次年度への繰越金	7,403,963	定期預金	1年定期 6,502,326 円
		(口座番号 2058071)	0 円
		0 円定期	0 円
		3ヶ月定期	0 円
		普通預金	499,241 円
		(口座番号 112670)	45,436 円
		現金	277,290 円
		郵便口座	0 円
		合計	7,403,963 円
		合計	7,403,963 円

## 平成17年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。
  - 30才以上の正会員の方は3,000円です。
  - 30才未満の正会員の方は2,000円です。
- さらにご協力をお願いいただけます方には、賛助会費・特別賛助会費を設けております。よろしくお願ひいたします。
- 賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。
  - 平成16年度卒(平成17年3月卒)の方は全員年会費を別途いただきますので、払込みは不要です。
  - 同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)
- 例、昭和50年卒 6年3組40番の方  
 明治1卒業年 クラス 出席番号  
 大正2  
 昭和3  
 平成4  
 350-03-40
- 通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。
- 郵便振替 大阪 00960-2-27966 雑松会宛

原稿と情報をお寄せ下さい  
宛先 〒543-0026 大阪市天王寺区東上町2-27  
「雑松」編集担当幹事 芳武 努 宛  
FAX 06-6771-6116  
E-mail: yoshipp@silver.ocn.ne.jp